



花に日本人の 美意識を込めて

三田花銀・総支配人 鈴木久夫さん



総支配人の鈴木久夫さんは昭和9年（1934）生まれの83歳

③ ~> V Ü x i i æ æ Ñ À { å
p å > 4 Q " Ý . w \ V 3 p b { è
æ æ C ` h æ N ° w Ý . w \ V 3 >
□ ú t i R ^ • ③ f ~ V w Ê 3 q t < f q p
s T ' C í ` o M ‡ b {
s E - b Ü í à T ' : Q o E è t s " i S
w ³ æ q É ^ æ t ~ > V Ü w ° ™ æ V • w
¥ M > O T U M ‡ ` h {

もとは人入れ稼業

初代が花屋を始めたのは、芝三田^{しばみ た どうぼうちよう}同朋町（現芝五丁目）でした。現在の場所には平成20年（2008）に移転しました。初代が三田花銀を創業する前、江戸時代末期に先祖である花屋金兵衛が「人入れ稼業」をやっていた、その当時の屋号が「花金」でした。

人入れ稼業とは現代の人材斡旋業。船着き場に集まる労働力を、人足として武家屋敷や寺社^{あつせん}に斡旋したり、土木工事を請け負ったりしていました。江戸時代前期に登場し、歌舞伎や講談でも知られる幡随院長兵衛や、江戸時代後期に浅草で活躍した新門辰五郎^{しんもん たつごろう}などが知られています。花屋金兵衛は人入れ稼業のほかに、房州（現在の千葉県）から金杉橋に届いた花を、三田^{さんだ}^{さんだ}^{さんだ}境界の寺社に納めていたとのこと。

明治時代に入ると人入れ稼業は衰退し、次第に花屋が本業となっていきます。このころ店を

構える花屋は少なく、初代も花籠^{はなかご}を両端に吊りした天秤棒^{てんびんぼう}をかついで行商に出ていました。当時の得意先の中には、一代で浅野財閥を築いた浅野総一郎を始めとして、内閣総理大臣を務めた桂太郎公爵、華頂宮家、北白川宮家など、三田の高台に居を構える旧華族もあったそうです。

心を生ける

昨今、花は結婚式や誕生日などのお祝い事や、母の日などのイベントで使うことが多くなりましたが、昔は床の間飾りや仏壇、お墓に手向けたりするのが一般的でした。生け花も娘さん達の花嫁修行と言われて盛んでしたし、日常生活の中に花が生けられていました。最近の住宅には床の間はなく、仏壇も置かなくなりました。また習い事も多様化して、生け花を習う人も減ってきています。

私は生け花とは、ただ花を生けるのではなく、花を通して四季を愛で、生命力や自然の尊さを感じること、ひいては心を生けるものと思っています。残念ながら最近の日本人にはそういう気持ちが薄らいできている気がします。花に込める日本人特有の美意識は大事にしてほしいものです。

老舗として

武者小路実篤は「天に星 地に花 人に愛」と、地上において唯一無二の美しいものは花である



賑やかな三田通りから道を1本入るとかわいらしいお花屋さんがあります。店内は幾種類もの花々が整然と並び、アレンジされるのを待っています。近隣の個人客のほか、企業からの依頼も多いとか

と色紙に書きましたが、三田花銀には「美しい花をより美しくして世に出す」という先代からの社訓があります。私は花の美しさを理解するには、まずは「本物」を見るべきだと考えていますし、これは店の者、そして同業者にも言っています。花に限らず建築でも焼き物でも、多くの本物に触れて、目を養えば、見せかけではない本当の美しさを理解できるようになる。昨今は結果を重視するインスタントの時代ですから、手間をかけた本物の美しさに触れる機会も減ってきている気がします。とはいえ時代の移り変わりを傍観するのではなく、時代の移り変わりを知っている老舗だからこそ、日本人の美意識を後世に伝えていかなければいけないと思っています。

参考：東京花一代記 小西銀次郎（小西銀次郎没後1周年追悼誌）

取材：菊池 弓可、森 明



Information

~> V Ü y ó y 5 & -
I U U Q X X X N J U B I B O B H J O D P K Q

慶應義塾大学薬学部では、平成15年(2003)から「健康づくり教室」を開催しています



芝公園の隣接する慶應義塾大学薬学部。東京タワーを仰ぎ見るキャンパス内では地域住民を対象にした「健康づくり教室」が定期的に開かれています。今回はこの教室の担当である同学部教授・附属薬局長の山浦克典先生に教室をご紹介します。



原稿を寄せていただいた山浦克典教授。社会薬学、薬物治療学が専門

慶應義塾大学薬学部では、平成15年（2003）より地域住民の皆さんを対象に「健康づくり教室」を開催しています。当時の附属薬局長の福島紀子先生の「地域住民の皆さんに附属薬局を知って欲しい、そして薬局として地域住民の健康増進に貢献したい」という思いから始まりました。さらに、大学の附属薬局が行うからには、学生が地域住民とコミュニケーションをとりながら、健康づくりのノウハウを学べることも重視し、学生が地域住民の体力・身体測定を行うスタイルとなりました。

平成27年（2015）に新体制となりましたが、先代の思いを継承し、①学生教育プログラム、②附属薬局の健康サポート事業および③大学の地域貢献活動を三つの柱とした「健康づくり教室」となっています。現在の運営体制は薬学部医療薬学・社会連携センターの教員8名を中心に、体育学教員3名、事務職員3名で、これに研究室の学生がボランティアで加わっています。

参加者は会場に到着するとまず体力・身体測定を行います。測定項目は、血圧・体脂肪・肺活量・骨量・握力・垂直跳び・長座体前屈などで、本教室を履修科目として受講している学生が中心となり測定を介助します。その後、本学体育研究所の板垣悦子先生を中心とする体育学教員の指導の下、30分程度ウォー



教室で講師を務められる田中雅子先生（左）と板垣悦子先生（右）

※Kiss ポート……公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団が発行している情報誌



ただいま
ストレッチ中

ムアップ運動、これに続いて40分程度の個別運動メニューを行います。主な個別運動メニューはエアロビクス、ピラティス、卓球、クラシックバレエで、各専門家によるレッスンをじっくり受けた後、再び全員でクールダウン運動をして終了です。昨年度は「ひばりエクササイズ」の田中雅子先生が特別講師として、馴染みのある日本の楽曲に振り付けするフィットネスダンスを教えてくださいました。



ウォーミングアップ後は卓球などのグループに分かれて運動



田中先生による「ひばりエクササイズ」



板垣先生による「ピラティス」

参加されたみなさんの感想

- ☆スポーツをするきっかけになった。感謝！
- ☆毎回体を計ってくれと張り合いが出る。
- ☆学生さん達との会話が楽しみ。
- ☆シニアの方々と話ができて嬉しい。（学生）
- ☆初めての卓球、シニアに教わった。（学生）
- ☆毎回変わるエアロビクスも楽しみ。
- ☆モダンバレエのポーズ、体幹の強化に役に立つ。
- ☆階段歩行で東京タワーの夜景がきれい。
- ☆家でストレッチをやるようになった。
- ☆SP（模擬患者）をすることで薬剤師の仕事が少しでもわかった。
- ☆顔見知りの仲間も増えた、懇親会も楽しみ。

Information

慶應義塾大学薬学部学生課
芝公園 1-5-30
TEL 03-5400-2648

取材協力：慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター長 中村 智徳教授
文：慶應義塾大学薬学部附属薬局長 山浦 真典教授
取材・写真：米原 剛

VOICE 芝人

國松 恵さん

NPO法人エブリィ理事長

「のんびり」「ゆっくり」「支え合う」を合い言葉に、地域の人たちが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、お子さんから高齢のかたまでが出会い、交流できる広場づくりに貢献されています。

気軽に楽しく 会いましょう

義母の介護の経験を活かして

「NPO 法人エブリィ」という団体の理事長として、地域での出会いの「広場」を提供する活動をされている國松恵さん。以前は普通の主婦でしたが、お義母さまの介護をきっかけにヘルパーの資格を取り、福祉そして介護の世界へと踏み出されました。

地域密着をモットーに

エブリィの活動のテーマは、地域に暮らす人と人が出会うための「広場づくり」です。「地域でのつながりが薄れています。とくにお年寄りや障害のある方は、外出をせず、ご近所の人とも顔を合わせていないケースが増えていきます。ですが、病氣や災害時のためにも、地域で集い、互いの顔を知っておくことはとても大切なこと。」と國松さん。

そのため、エブリィの主な活動は、人と人が出会う場をつくること。たとえば折り紙で交流が楽しめる「手あそびの会」、「食事を通しての交流」、三原色と白で自分の色を作って描く「キミ子方式で絵を楽しむ会」、「さをり



「さをり織り」「キミコ式絵画」 作品展のお知らせ

日時 月、金、土、日（10時～16時）
場所 みんなち・みつ蛸 港区白金6-2-4
TEL/FAX 03-6277-0821

※詳しくは NPO 法人エブリィへお問合せください。

区の就労支援施設「みなとワークアクティ」の帰りに立ち寄り、素敵なさをり織りのストールを完成させていた亜希さん（左）と國松さん



とふれあう会」などがあります。

“さをり”とは好きな糸で自由に織ることができる「さをり織り」のこと。三田の事務所で行われているこの会の参加者は現在 15 名ほどで、年齢や障害に関係なく、どなたでも参加できるのが特長です。障害を持つ方のお母さんも、気分転換を兼ねていらしているそうです。

この思いをつないで欲しい

「15 年間、活動をともしてきたパートナーも、お母さんの介護の時期になってきました。最近は活動をはじめることや続けることより、いかに終わらせていくのか、そんな難しさを感じています。『出会いの広場をつくりたい』という私たちの思いが、今後も地域の方々に引き継がれて行くように、そう願っています」。

エブリィの活動は、やさしく楽しい集いばかり。特にさをり織りは、手仕事が好きなお方にはおす



一度に3-4名の人が作業できるスペースで、さをり織りを楽しんでいます

すめです。自分で織った布で作る、ストールやバッグを身につければ、お出掛けが待ち遠しくなることでしょう。

國松さんが朗らかに迎えてくれる「エブリィの広場」へ、ぜひ足を運んでみてください。

取材・文・写真：森田 友子



「ふれ愛まつりだ、芝地区！」では、今年もストラップを作り、売上を東北への支援金として寄付されました

Information

NPO 法人エブリィ
三田 2-11-7-202 TEL 03-6435-2323

おいしいコーヒーの淹れ方、教えます！

UCCコーヒーアカデミー

UCC COFFEE ACADEMY

UCC コーヒーではコーヒーに興味がある人を対象に、毎月、各種セミナーを開催しています。今回、取材したのは一般向けの入門編となる「体験コーヒーセミナー」。まずは1階奥にある UCC グループショールームの見学からスタート。ここには世界の産地の地図とそこで採れた豆を展示しています。また焙煎機をはじめ普段なかなか見られない多種多様な抽出器具類が並びます。

教室に戻り、いよいよ実践編です。ペーパードリッップでの淹れ方である一度お湯をそいで粉を蒸らしたのち、一気にお湯を注ぐ1投式と3回に分けて注ぐ3投式にトライ。その味の違いに驚きました。

続いてフードペアリングを学びます。これはコーヒーとスイーツの相性を知るもので、フルーツケーキ類にはキリマンジャロ、クッキーやマフィンにはブラジルが最適なのだとか。いただくと、なるほど実感しました。

90分の授業は美味しい驚きであつという間に過ぎました。講師の大澤優二先生は「いかに楽しんでいただけるか、そしてもっとふれ

あいを広げられたら」との思いから、ユーモアたっぷりに講義。場を和ませてくれました。受講生からは「直接教えていただきすごくためになりました」「フードペアリングを初めて知り、良く合っているのにびっくり」「いままではいかに淹れていたかに気づきました」といったコメントが出て、みなさん様に満足した表情。

UCC コーヒーアカデミー責任者で UCC コーヒー博物館副館長を務める栄秀文さんは「コーヒーはご家庭でもちょっとした抽出のコツを覚えると、いままでと違ってより美味しく味わえます」と、コーヒーへの愛を熱く語って下さいました。

不定期で一般に開放してコーヒーの魅力を伝えるイベントも開催されています。ちなみに10月2日(月)・3日(火)はアカデミー開校10周年記念として「コーヒー収穫祭」を開催。アカデミー認定コーヒー資格者による企画や歴代コーヒー抽出チャンピオンによる抽出サービス、参加者自ら体験できる抽出やマイブレンダーコーナーで比較試験をするなどいつもと違う内容をご用意していますので是非体験してみてください。

取材・文：千葉 みな子 写真：森田 友子



1投式と3投式にチャレンジ。条件が同じでも淹れる人でそれぞれ味が違う



ペーパードリッップに12gの粉を入れ、95℃前後のお湯を160cc注ぐ。お湯は低い位置からゆっくりと。お湯を注ぐときは受講生も先生も真剣な表情になる

講座概要案内

☎ **体験コーヒーセミナー**
美味しいコーヒーを気軽に楽しく抽出体験できる入門編

☎ **コーヒーベシックコース**
コーヒーの基本的知識から歴史や作法、抽出の解説と実技

☎ **プロフェッショナルコース**
より深い知識と技術を取得してコーヒー教室をやってみたい人への講義

※受講申込み、問い合わせは下記へ

Information

UCC コーヒーアカデミー東京校
新橋 6-1-11 Daiwa 御成門ビル 1階
TEL 03-5400-5705
http ; //www.ucc.jp/academy/



風格をたたえている正面玄関

東京美術倶楽部の歴史

同社の設立は明治40年(1907)と古く、今年で110年。明治時代に入ると、多くの大名が所有していた美術品を手放すようになり、明治中ごろから美術品の売買が活発になりました。当時、美術品の売買は主に料亭で行われていましたが、売買専用の料亭として両国の料亭「伊勢平楼」を美術商たちが買い取り、「株式会社 東京美術倶楽部」が設立されました。

その後、関東大震災により現在の地(当時:芝区愛宕下町4丁目5番地)に移転しました。昭和12年(1937)、三階建ての和風社屋を新築すると、戦後は美術業界の拠点となっていきました。平成3年(1991)には地上12階のビルに生まれかわり、現在に至っています。



緑美しい庭園はお茶会にも使用されている



庭園は雪の季節も風情がある。春には桜も楽しめる



3～4階は各種展覧会やイベントが開催できる広大な空間が広がっている

さまざまな芸術に触れる『東京美術倶楽部』を訪ねる

御成門から浜松町へ向かう道路沿いに、

正面入り口が重厚な造りのビルをご覧になる方も多いことでしょう。

「東京美術倶楽部」の大きな文字が目に入ってきます。

全国500名の美術商が株主になって運営している「株式会社東京美術倶楽部」の社屋です。

さまざまな催し物

1階から4階の「東京美術倶楽部」の中を覗いてみましょう。

1階では毎日、美術商専門の売買(セリ)を開催しています。取材した日には刀剣のセリが行われており、室外に大きな声が聞こえてきました。

2階には48畳敷きの大広間から9畳敷きの茶室まであり、あわせて194畳の日本間が幽玄の趣をたたえている日本庭園を背にしています。これら日本間は展示会や茶会などに使われています。

3～4階のイベントホールでは、年間数多くの催し物が開かれており、一般の人々も気軽に入場し、美術品を購入できるチャンスもあります。毎年10月には「東美アートフェア」、12月には「歳末東美正礼会」も予定されています。ともに一般でも入場可能です。さらに平成32年(2020)に向け



日本庭園に面した大広間で開催される正礼会。良いものを見つけれれるまたとない機会

て、大きな催事も計画中とのことです。

さらに同倶楽部では、日本画、洋画、工芸品の物故作家約150名の作品鑑定も随時行っております。

美術商以外は入場できる場所ではないとおもわれていますが、年に数回開かれている「催し物」を覗いてみてはいかがでしょうか。

文・取材：伊藤 早苗

Information

株式会社 東京美術倶楽部
新橋 6-19-15
TEL 03-3432-0191
http://www.toobi.co.jp



とっておきの講座編

今回は、三田・神明・虎ノ門の3館のいきいきプラザで開催中の「食の講座」を紹介いたします。医食同源の言葉のとおり、食は健康維持には欠かせません。「食べて美味しい栄養士講座」「いきいき朝ごはん」を活用してはいかがでしょうか。

ともに開催日が変更になる場合もございますので、各いきいきプラザへお気軽にお問い合わせください。



取材・文・写真：米原 剛

テーマに合わせたお菓子とお茶をいただきながら参加

食べて美味しい栄養士講座

毎月1回、管理栄養士と国際薬膳師の資格を持つ講師が、テーマに沿って生活に密着した話をしてくれます。

各月ごとのテーマは、6月が「紫外線から身を守る～酸化や糖化に注意～」、7月は「健康情報のウソ? ホント?」、8月は「糖質との上手なお付き合い」などなど。それぞれの季節や時流に合った内容になっているのが魅力です。しかも、講義で紹介する食材を使ったお菓子とお茶をいただきながら学ぶことができます。

9月からこれまで同様、興味深いテーマで食と健康について講師がわかりやすく解説。講座に参加して、食を通していきいきとした生活を送りましょう。(※当日、材料費として参加費300円が必要です)。

三田 第2水曜日 14:00～15:00

神明 第3金曜日 14:00～15:00

虎ノ門 第3火曜日 11:00～12:00

※希望するそれぞれのいきいきプラザに事前に申し込んでください。定員を超えた場合は抽選となります。



各テーマをわかりやすく解説。男性の参加もみられます



資料もあり、家に帰っても復習できます

いきいき朝ごはん

朝ごはんは1日の力の源。各いきいきプラザのカフェでは、概ね65歳以上の区民の方を対象に、栄養士のスタッフがメニューを考案した美味しい朝ごはんを提供しています。カフェで過ごす、みんなとの楽しい時間。いつもと違う朝をカフェで体験してみませんか?(※事前申し込み制。当日、食事代として300円が必要です)。



スタッフ考案のメニュー



メニューは事前にポスターでお知らせ



みんなと一緒にいただきます

三田 月2回・水曜日 9:10～10:10

神明 月2回・日曜日 9:30～10:00

虎ノ門 月2回・土曜日 9:30～10:30

※希望するそれぞれのいきいきプラザに事前に申し込んでください。定員を超えた場合は抽選となります

Information

芝地区いきいきプラザ3館では、身体をケアする数々のサービスを提供。さらに心のケアや仲間づくりのための計58におよぶ講座や教室、イベントなどを実施しています。それぞれ3館の特徴を生かした催しとなっています。お近くのいきいきプラザに、ぜひおいでください。

三田いきいきプラザ

芝4-1-17 TEL 03-3452-9421

神明いきいきプラザ(プラザ神明)

浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500

虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)

虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



●写真・資料提供 指定管理者：百葉の会・東急コミュニティー共同事業体

芝の老舗

創業から137年を迎える
「すき焼き 今朝」

新橋第一京浜沿いにあるすき焼き店「今朝」は、初代当主藤森今朝次郎が明治13年（1880）に創業した、すき焼き一筋137年の老舗です。5代目当主となる藤森朗さんにこれまでの歩み、伝承と伝統についてお聞きました。

初代今朝次郎は、信州・諏訪の出身。明治の初めに遠威が営む銀座のすき焼き店「今広」で修業後、横浜から岡蒸気(蒸気機関車)で一直線、東京の玄関口である芝口（現在の東新橋）に「今朝」を構えます。味噌仕立てが多い関東にあって「今朝」は醤油味。当時の店には風呂の設備があり、浴衣に着替えた客や、釣りのあとに立ち寄る客が食事を楽しんだそうです。現在の店主である5代目の朗さんは、高校生の頃から「先祖から続くものを途絶えさせてはいけない」と思っていました。大学卒業後、ドイツの鉄板焼き屋で働きながら、休日は趣味のオペラを楽しみ、ワイナリー巡りをして、4年後の平成2年（1990）に帰国。調理師とソムリエの資格を取得しました。



「日本人は童顔のため成人に見られないことが多い」と、ドイツ留学時からたくわえ続けているカイゼルひげ。5代目のトレードマークです

「伝統と伝承は違います」という朗さん。「形を変えずにそのまま守り続けるだけでは伝承です。時代に合わせて、新しくする姿勢こそ伝統だと思います」。朗さんはすき焼きに合うワインリストを揃え、食材のクオリティを保つため、厳選された松阪牛や野菜を確認に生産現場も訪れます。「食材は、黒毛和牛、千住ネギ、シイタケ、エノキダケ、焼き豆腐、タケノコ、春菊、白滝。黒毛和牛は松阪牛を中心とした胃もたれしない



「すき焼き」の語源は諸説ありますが、農作業に用いて古くなって擦れた鋤を焼き鍋にし、肉類を食べたとの説が有力です

A5 ランク。その肉は板前が一枚一枚丁寧に包丁一本で切っていく『手切り』で提供しています。機械によるスライスではないので、肉の断面に味がのるのが『今朝』の美味しさです。店内の設えにも先進性を取り入れており、なかでも平成 26 年（2014）のビルの耐震補強の際、ロックプロデューサーで壁画家の木村英輝氏に自ら交渉し、依頼した作品「Wagyu and Grape」は一度見たら忘れられない力強さがあります。金縁に黒と紫で描かれた牛は 13 頭。そして葡萄が 20 房と全部で 33 という吉祥の数。牛の顔の向きも運気の良い方角を向いているというからあやかりたいものです。

さらに「美味しい料理は美しい設えの中で。それが料理を食べる文化、食育につながる」という方針を持ち、室内装飾のため表装も学んだとか。客室の床の間には、自らの手で表装した季節に合わせた軸が掛けられています。また店内には代々受け継がれてきた美術品も多く、お客様に説明が



明治37年（1904）3月に撮影された「今朝」の店構え。看板には「牛肉」の文字が書かれています



木村英輝氏による「Wagyu and Grape」。天井にまで続く大胆な構図と力強い色遣いは見る者の目を奪います

できるようにと学芸員の資格も取得しているということから、「今朝」の歴史そのままを背負ってこうとする覚悟が見て取れます。文章は旧仮名遣いで書き、明治時代のような口ひげをたくわえ、クラシックなスーツや和服で客をもてなす 5 代目朗さん。その姿勢から、伝統を受け継ぎ、革新へつなぐ「芝の紳士道」を感じました。



取材：森 明、早川 由紀
文：早川由紀、写真協力：すき焼 今朝
参考文献：『今朝百年』細谷一郎著（藤森紫朗発行）、『すき焼きのヒミツ』藤森 朗 & 高野 光一郎（Audible.com 提供）

Information

すき焼 今朝
東新橋 1-1-21 今朝ビル 2 階
TEL 03-3572-5286
<http://sukiyaki.imaasa.com/>



港区浜松町 2 丁目と芝大門 2 丁目、そして芝 1 丁目と芝 2 丁目を結ぶ橋、それが金杉橋です。江戸時代には東海道が古川を渡る橋としてその名が知られており、いまでも古地図や浮世絵などに「金杉橋」の文字を見ることができます。海に近いこの界隈は、徳川家康が江戸幕府を開く以前から漁村として多くの漁師が暮らしていました。落語『芝浜』の舞台ともなりました。その後も金杉川口町、金杉濱町、本芝、芝浦といった町名で漁師町として栄えてきました。現在、往時の東海道は第一京浜となり、古川の上には高速道路が通っていて、ずいぶん景色は変わりました。ただ金杉橋付近にはいまでも漁船、屋形船、釣り船などが係留され、この地には海や河川と共存した暮らしが続いていると実感します。かつての風情がそこに残っていて、懐かしい思いにとらわれることがあります。私自身、中学生のころ、父親と一緒にここから釣り船に乗って東京湾でハゼ釣りをした経験があります。お昼に舟で天ぷらを食べたりしたことを懐かしく思い出します。また船宿も数件残っていて、江戸情緒を偲ばせる思いがします。

昭和 26 年（1951）生まれ。39 年間、新橋タカトク金物株式会社に勤務。「新橋で生まれ育ちましたので、特に港区、芝地区には愛着を持っています。この地域には歴史的な名跡が多いうえに、新名所もあり、興味深いエリアです。これからも芝地区の“心に感じる”素敵な風景を見出して描いていきたいと思います」

絵・文：大野 正晴

町会・自治会トピックス

「夏休み体験学習～芝消防署見学会～」を開催しました ＜虎ノ門三丁目広栄町会＞



AED や消火器の操作も学びました

町会会長（右）と三輪田副会長兼防火・防災・防犯部長（左）

町会・自治会は地域のもっとも身近な防災の担い手です。虎ノ門三丁目広栄町会では、積極的な防災対策に取り組んでおり、8 月19日（土）、地域の子どもたちを対象に体験学習を行いました。子どもたちは芝消防署を訪れ、施設見学や消防士の説明により防災の知識を楽しく学びました。町会 繁会長は「大切なのは小さいころから防災意識を育むこと。防災に関心を持った子どもたちが、家庭での話題に挙げてくれたら嬉しいし、そのためには地域の皆さんや行政と協力しながら、地道に活動を重ねていきたい」と語りました。

その他の取り組み

防災積立
災害時の活用を目的として今年度までに 200 万円を計上

新築マンションへ仮設トイレを設置
住民と帰宅困難者へのトイレ対策として、建築計画時にマンションへ要請。区域内 1 棟の敷地内にマンホールトイレ設置を実現

区立西久保町児童遊園の防災施設整備を要望
虎ノ門三丁目巴町会と共に整備に際して区と協議。マンホールトイレ、かまどベンチ、非常時にも点灯する公園灯の整備を予定

防災訓練
開催案内を会員へ個別通知し、町会未加入の事業所にもお知らせ

取材・文：芝地区総合支所協働推進課

港区総合防災訓練（芝会場）

区立芝公園で防災を学ぼう！！

東京消防庁の
キュータです

事前申込不要

参加者記念品あり

参加費無料

防災スタンプラリー

訓練に参加してスタンプを集めよう！いざという時に役に立つ日用品や防災グッズがもらえるよ！

非常食の試食

長期保存可能なカレーや
いろいろな非常食が試食できる！



芝地区の
芝次郎です



人気キャラクター
がやってくる！

消防士になり切って
写真を撮ろう！

10月1日(日)

午前9:30～11:30 ※入退場自由

会場 区立芝公園 芝公園4-8-4

～そのほか楽しい防災体験がたくさん～

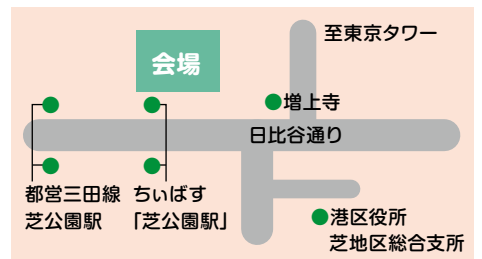
煙の中の避難、地震の揺れ、消火訓練など



煙ハウス



初期消火



お問い合わせ
芝地区総合支所協働推進課協働推進係
TEL 03-3578-3123

芝地区 防災訓練

検索

慶応仲通り商店街に 「KON太くん」 デビュー！！



湯浅会長と KON 太くん

7月22日（土）に行われた第4回慶仲祭で、商店街のゆるキャラ「KON太くん」が地域に初お目見えしました。

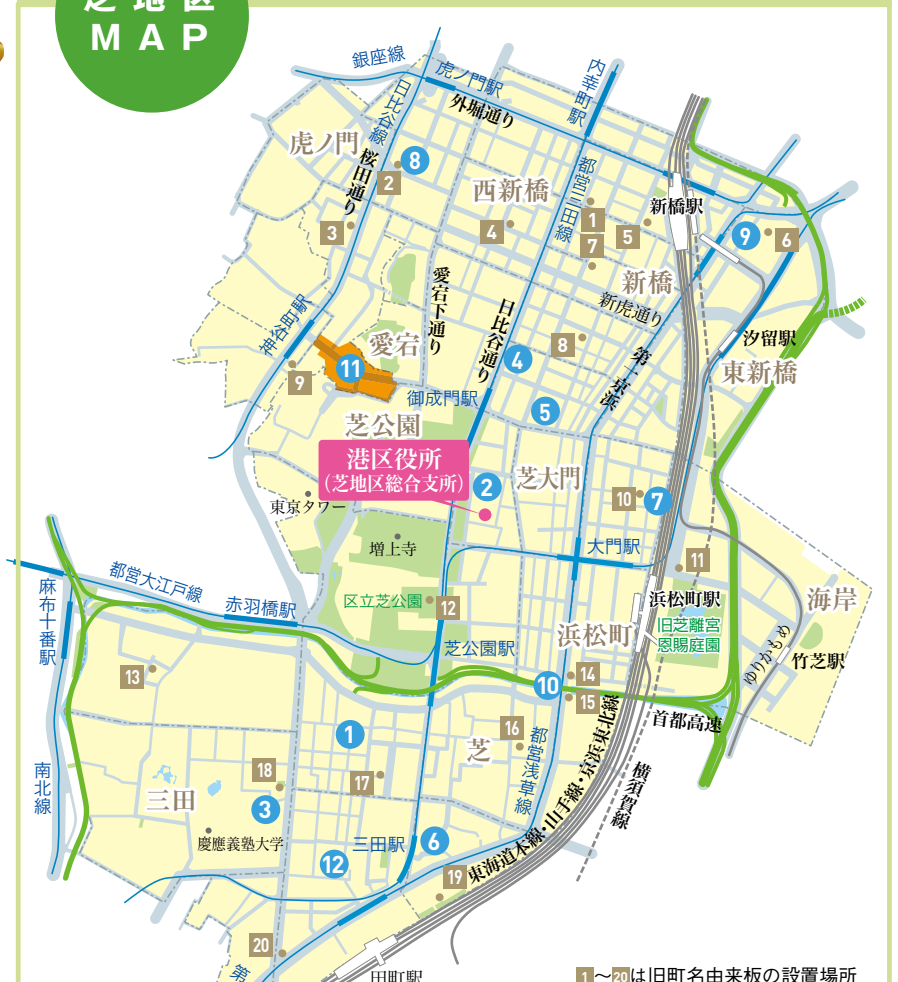
KON太くんは商店街から地域の小学校へ呼びかけ、応募いただいたイラスト作品の中から選ばれたキャラクターです。名前の「KON」はK：慶、O：応、N：仲を表しています。

商店街の湯浅孝雄会長は「地域の子どもたちに地元商店街へ興味を持ってもらえたらと思い募ったところ、なんと400通以上の応募がありました。予想を上回る反響にとっても感激いたしました。KON太くんや地域の皆さんと一緒に、商店街をもっと盛り上げたいです」と、喜びもひとしお。

KON太くんは今後、地域のイベントなどに登場していく予定です。見かけたら、ぜひ仲良くしてくださいね！

芝地区 MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。
ウォーキングマップとしてご活用ください。



1～20は旧町名由来の設置場所

- 1 三田花銀 → P1
- 2 慶應義塾大学薬学部 → P2
- 3 エブリイ → P3
- 4 UCCコーヒアカデミー → P4
- 5 東京美術倶楽部 → P5
- 6 三田いきいきプラザ → P4・5
- 7 神明いきいきプラザ → P4・5
- 8 虎ノ門いきいきプラザ → P4・5
- 9 すき焼 今朝 → P6
- 10 金杉橋 → P7
- 11 虎ノ門三丁目広栄町会 → P7
- 12 慶応仲通り商店街 → P8

買い物
するなら
地元の
商店街で

Going shopping?
Visit our local
shopping
streets.

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています
伊藤早苗／菊池弓可／桑原庸嘉子／柴崎賢一／柴崎郁子／田岡恵美／竹田和行／千葉みな子／中原たづ子／早川由紀／町田明夫／森明／森田友子／米原剛（五十音順 敬称略）
●今後の発行スケジュールは次の通りです。
H29.12（第45号）、H30.3（第46号）、H30.6（第47号）、H30.9（第48号）※各号発行月の20日頃

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配付しています。

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号（港区役所1階）
TEL03-3578-3192 FAX03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>